

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	志賀高原ロングライド
事業主体 (連絡先)	志賀高原ロングライド実行委員会 (事務局：山ノ内町観光商工課 ☎0269-33-1107)
事業区分	(6)ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	8,388,012 円 (うち支援金：1,038,000 円)

事業内容

志賀高原から栄村、木島平村、飯山市、野沢温泉村へ、雄大な自然の中を自転車で駆け抜け、地域の味覚を味わい、志賀高原をはじめ信越自然郷の魅力を満喫するイベントとして、また志賀高原ユネスコエコパークや信越自然郷の代表的な観光地としての魅力を発信することを目的として「志賀高原ロングライド」を開催しました。

開催日

9月30日(土) 受付、開会式、サイクルラリー

10月1日(日) サイクリング

コース設定

山岳115km、林間85km、高原50kmの3コース

エントリー数：403名(過去最高)



【山岳115km  
スタート前の様子】

【目標・ねらい】

- ①サイクリング適地としての認知度の向上
- ②信越自然郷や志賀高原ユネスコエコパークのPR
- ③閑散期の観光客入込の増

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①イベント告知や実施により自転車関連の媒体での認知度アップができ、前日イベントとして開催したサイクルラリーでは志賀高原全体をサイクリングできるよう設定し、サイクリング適地としての認知度の向上ができました。

②信越自然郷の自然をPRするイベントとして紹介し、信越自然郷エイドステーションを設置することで当地域の魅力をPRを行いました。

③大会を10月上旬に開催することで宿泊が少なかった時期に多くの宿泊者を獲得することができました。

※自己評価【B】

【理由】

コース変更により魅力的な大会となったことから過去最高の参加申し込みがあったため

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

大会後の参加者アンケートから友人に勧めたいとの回答も多く高評価であることから、今後もコース変更等の改善をして継続して開催することにより参加者の増加が見込まれ、信越自然郷や志賀高原ユネスコエコパークのPRにつながるものと思われます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある